

# 鵜の木地区地域情報紙 さんぽみち

第100号

鵜の木特別出張所管内の人口  
(令和元年12月1日現在)

男	12,295人
女	13,634人
計	25,929人
世帯数	14,176世帯



発行：地域力推進鵜の木地区委員会  
 編集：鵜の木地区 地域情報紙編集委員会  
 事務局：鵜の木特別出張所  
 電話 (3750)4241 FAX (3750)2418

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

**「さんぽみち」100号を記念して**

この度、地域情報紙「さんぽみち」が記念すべき100号を迎えられましたこと、心からお祝いを申し上げます。平成3年4月創刊から28年の永きにわたって編集に携わってこられた編集委員ならびに関係者の皆様に敬意を表します。

「さんぽみち」は「地域の催し物の活動紹介」や「地元の豆知識」など、地域の暮らしや生活に根ざした情報を発信し、地域の魅力再発見と地域力を推進する原動力となっております。地域の皆様に愛される情報紙として、さらに地域力を結集し、末永く発行され続けられますことを期待いたします。

今年はおリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年であり、地域の魅力を世界にアピールできる絶好の機会でもあります。区においても、「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向けて、皆様と共に力強く歩んでまいります。

本紙のますますのご発展と関係者の皆様のご健勝を祈念し、「さんぽみち」100号のお祝いの言葉とさせていただきます。



大田区長 松原 忠義

明けておめでとうございます。皆様方には、健やかで輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

現在の発行部数  
12,500部

配布場所  
鵜の木地区各町会、各特別出張所、区関係施設、鵜の木管内小中学校、金融機関、駅 など

平成3年 創刊 B4 2ページ立て

平成5年 「さんぽみち」第5号から各戸配布

平成10年 年4回の定期発行となる

平成16年 A4 4ページ立てとなる

平成26年 「さんぽみち」第78号から2色刷りとなる

編集長あいさつ

平成3年に生まれた「さんぽみち」は、諸先輩の努力の上にコツコツ歩みを進め、今回100号を迎えることができました。これからも、地域に愛される情報誌を目指します。



創刊号

# さんぽみち 100号 になりました

活動拠点 鵜の木特別出張所 (写真は旧庁舎)

## 新年を迎えて

鵜の木地区町会連合会会長 千鳥南町会会長 大井 重雄  
 明けましておめでとうございます。同時に「さんぽみち」が平成3年創刊から28年経て、100号到達。これまで編集に携わってきた多くの編集委員の方々に感謝申し上げます。

昨年は大きな台風が来襲、自然の脅威を感じた年となりましたが、予定した諸行事は皆様の協力で行うことができました。本年も皆様のお力をお借りして連合会運営を進めてまいります。

100号を迎えた「さんぽみち」は地域にとってはなくてはならない「地域情報紙」となっています。創刊当時、投稿によるエッセイ、俳句、川柳が紙面を飾っていたことを懐かしく思います。今後も鵜の木地区の「今」が溢れる紙面を期待しています。

鵜の木特別出張所長 森田 治樹  
 明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、「さんぽみち」が記念すべき100号を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。事務局として、関係者の皆様のご尽力の賜物と深く感謝いたします。

今後も地域の方々と共に成長し、信頼される出張所を目指して、日々努力してまいります。

皆様のますますのご健勝を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



前列 右から	鵜の木三丁目町会 会長 原田 敬悟
	千鳥南町会 会長 大井 重雄
	千鳥北町会 会長 吉崎 迪三
	鵜の木西町会 会長 美谷島 善昭
後列 右から	鵜の木特別出張所 所長 森田 治樹
	南久が原一丁目町会 会長 野口 伸雄
	鵜の木東町会 会長 川合 勇夫
	鵜の木二丁目町会 会長 堀江 敏雄

**令和元年度大田区青少年対策地区委員会永年功労者(10年従事)** (10月28日表彰)

- 鵜の木二丁目町会 蓮見 俊夫
- 鵜の木三丁目町会 伏見 智之

**令和元年度東京都赤十字大会** (10月30日表彰)

- 金梓支部長感謝状(10年以上)
  - 千鳥南町会 本多 治恵
  - 鵜の木三丁目町会 永岡 光子
  - 鵜の木西町会 藤田 信子
  - 鵜の木二丁目町会 大房 敬子
  - 千鳥南町会 村松 茂
  - 鵜の木三丁目町会 今井 優子
  - 鵜の木西町会 鳥海 美香
  - 千鳥南町会 橋本 章
  - 鵜の木三丁目町会 澤崎 愛子
- 銀梓支部長感謝状(5年以上)
  - 鵜の木西町会 竹井 純子
  - 鵜の木三丁目町会 井上 治子
  - 鵜の木二丁目町会 深井 敏江
  - 鵜の木三丁目町会 神園 由美子
  - 鵜の木西町会 松下 加代子
  - 鵜の木三丁目町会 小林 孝男
  - 鵜の木西町会 加藤 多津美
  - 千鳥南町会 佐川 文省

(敬称略)

---

**行事予定** ※詳細は各町会掲示板等でご確認ください。

- 鵜の木東 鵜の木西町会 鵜ノ木八幡神社 共催
  - 3月1日(日) 餅つき大会
- 鵜の木三丁目町会
  - 1月12日(日) どんど焼き
  - 2月3日(月) 節分祭
- 千鳥南町会
  - 3月29日(日) 歩こう会
- 南久が原一丁目町会
  - 3月29日(日) お花見会
  - 防災訓練

---

**編集後記**

今回は記念の「さんぽみち」100号です。「さんぽみち」と地域の平成年間を振り返る号とし、区長のご挨拶、地域代表者などのご挨拶を頂きました。高齢者ふれあいフェスタの記事に加え、地域の変化を示すデータも入れました。

地域の変わらない良さ、変わっていく良さ、それぞれを感じ取っていただければ幸いです。

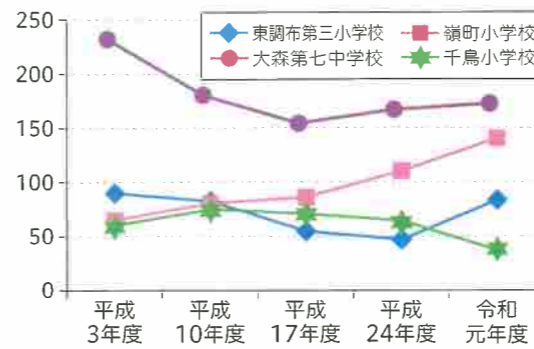
昨年は、台風が15号、19号と当地域にも立て続けに到来。自然災害の猛威を実感した1年でした。

今年は、平穏な和やかな1年になるよう祈ります。

編集長 野口 伸雄

# 「さんぽみち」とともに ~ 鶺の木地区の変化 ~

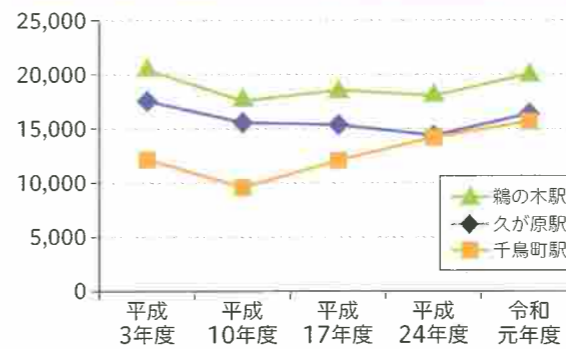
### 小中学校1年生の児童数の推移



### 人口の推移



### 駅の1日当たりの乗降客数の推移



年	鶺の木地区	大田区
平成 3年1月	21,959	648,125
平成10年1月	21,481	637,077
平成17年1月	21,917	670,650
平成24年1月	22,607	694,524
平成31年1月	25,673	729,534



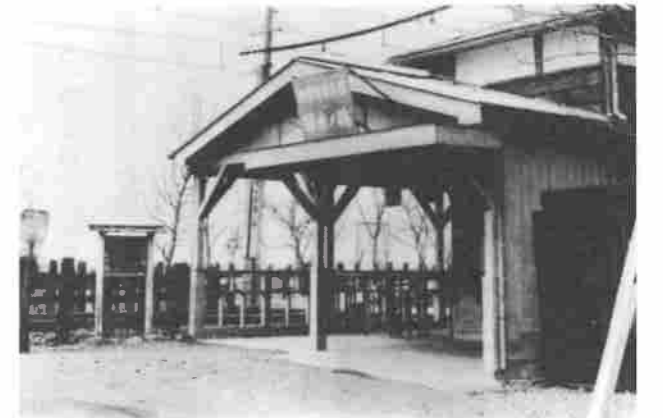
久が原駅(昭和34年撮影) 提供:東急(株)



大森第七中学校旧校舎(平成30年9月撮影) 提供:大森第七中学校



千鳥駅(昭和34年撮影) 提供:東急(株)



鶺の木駅(昭和9年撮影) 提供:東急(株)

## 高齢者ふれあいフェスタ

日時 3月12日(木)午後1時から4時15分  
 場所 大田区民プラザ

実行委員長(鶺の木元気塾) 貝増ますみ

3月12日(木)に、第16回高齢者ふれあいフェスタが開催されます。

鶺の木地区では、もみじ・鶺の木・千鳥の三つの元気塾(ごなたでも参加可)が月に一回、それぞれ活動しています。そして三元気塾が年に一回集結してフェスタを開きます。

第一部は濱乃志隆さんの「音楽と落語の宅急便」と、千鳥保育園の子どもたちの踊りを予定しています。

第二部は体験型の催しとなります。地域の企業や団体のブースが多数あります。東京高校の生徒さんをはじめ、多くのボランティアの方々も協力してくださいます。

また、この夏に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックにむけての企画もあります。皆様、お誘いあわせの上お越しください。



もみじふれあい元気塾  
フラワーアレンジメント



鶺の木ふれあい元気塾  
ペンダントづくり



千鳥ふれあい元気塾  
小物づくり

### ステージ

落語 出演:濱乃 志隆 (13:20~14:20)  
 千鳥保育園の園児の踊り (14:25~14:35)  
 東京五輪音頭2020 (14:40~14:50)

### ブース

- デジタル写真館
- 指あみで作るマフラー
- マジックバルーン
- パソコンを使った占い
- おしゃべりサロン
- ネイルブース
- 香りのハンドマッサージ
- フラワーアレンジメント
- ペンダントづくり
- 小物づくり
- 健康体操
- 被災地復興物品販売
- 福祉のお店(パンの販売)
- 高齢者ふれあい事業パネル展示
- オ・ア・シ・ス運動 展示コーナー
- 18色の縁づくり事業コーナー

※上記は予定です。詳細はチラシやプログラムをご確認ください。



### デイキャンプ報告

10月20日、清々しい秋空の下、今年も青少年対主催の子どもデイキャンプを平和島キャンプ場で行いました。恒例のこの行事は、管内3小学校から108人の子どもたちとお手伝いのPTA(PTO)の方々に参加しました。大型バスの中はおしゃべりで賑わい、キャンプ場ではグループごとに炭をおこして飯盒でご飯を炊き、包丁で野菜や肉を切ってカレーライスを作りました。自分たちで作ったカレーライスは格別に美味しかったようで、あっという間に大鍋の底が見えていました(笑)。食べ終わった後は皆で片付け。煤で汚れた鍋や飯盒をピカピカに磨きました。その日は隣接する大田区青少年交流センター「ゆいっつ」のオーピングフェスタがあり、様々なスポーツやカルチャープログラムに参加させて頂き、盛り沢山な一日となりました。

子どもたちからは「楽しかった」「また参加したい」と嬉しい声を沢山聞く事が出来ました。

青少年対策鶺の木地区委員会  
 青少年部 部長 貴志 麻子

